

2023 年度（令和 5 年度）理事会（総会）議事録

日 時：令和 5 年 1 月 22 日（日） 14：00～16：45

場 所：もくせい会館

出席者：定数84名のうち、出席56名（代理1名・幹事2名）、委任状17通 2/3以上出席（成立宣言）

挨拶（落合敏男 会長）

令和 3 年度及び令和 4 年度がコロナで総会が開催されず、本日は久しぶりに皆さんにお会いいたします。このような状況なため、会の進行を早く進めていきたいと思ひます。

例年、この総会において表彰者には個々に表彰状および記念品を渡して表彰してきましたが、今年はいわないため少し寂しい気持ですが、それぞれの協会で、皆さんにご披露して労っていただければと思ひます。

コロナについては、今年も昨年同様な状況が続くと思ひますが、各種大会を開催する予定でありますので、ぜひご協力をお願いします。また、9 月には全日本シニア選手権大会が静岡で開催されます。花川・草薙・有度山・富士の各種会場で行われますので、それぞれの協会の皆さんには大変お世話になると思ひます。この大会にはたくさんのシニアの方々がお見えになると思ひますので、立派な大会にしたいと思ひますのでご協力をよろしくをお願いします。

議事（議長：落合会長）

1 日本連盟・東日本連盟定時評議員会報告（小林理事長）

理事会資料に基づき日連評議員会全般を説明

(1) 大会参加料の改定について

日本連盟主催大会及び東日本連盟の大会参加料が新年度より値上げとなる。ただし、小学生の大会については変更なし。

(2) 国民体育大会の名称変更について

佐賀大会以降は名称を「国民スポーツ大会」へ変更となる。

(3) ワールドマスターズゲームズについて

コロナにより延期となっていたが、京都福知山市で 2027 年 5 月に開催予定。

(4) 会員登録制度について

移行作業により不具合が生じスムーズにいったいない状況にある。私の周りでは移行作業が終わった団体が多いように思われる。

(5) 中学生の地域クラブへの移行について

運動部活動地域移行推進委員会という新しい委員会を立ち上げ、日連としての具体策を検討する。

(6) 加盟団体補助金について

・「ソフトテニス週間」の補助金として、日連から県連に 10 万円の補助金があったが廃止。

・「愛好者増加対策」として、支部に 15 万円の補助金があったが、10 万円で減額。

(7) ランキング選手表彰の廃止について

ランキングについては今まで通り発表するが、表彰は廃止する。

(8) その他

・支部功労者 村中優氏・近藤敦子氏

・支部優良団体 医療法人社団心

・新年度の全日本選手権大会の会場は、有明テニスの森（ハードコート）で開催。大会使用球はイエローボールを予定。会場については、しばらくの間固定化する。

(9) 東海連盟

- ・東海ミックスダブルス選手権

令和6年3月20日（水祝）、予備日は3月30日（日）に開催予定。会場は口論義テニスコート。
次年度は静岡県で開催予定。

- ・東海シングルス選手権

1日で決勝まで7マッチで開催していたが、故障者が多いため2日制となる。

2 令和4年度事業報告（小林理事長）

理事会資料に基づき令和4年度事業報告全般を説明。

- (1) 令和4年度理事会は新型コロナウイルス感染症防止のため文書審議。

- (2) 令和3年度の表彰式は中止。

- (3) 第1回常任理事会は令和4年3月19日（土）に開催。

- (4) 第2回常任理事会は令和4年9月17日（土）に開催。

- (5) 大会に関する事業

新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった大会は「県地区対抗戦」「神奈川県・静岡県対抗戦」の2大会。

- (6) 選手強化育成に関する事業

国体強化事業については、各種別感染防止の上でできる限り実施した。

各カテゴリーでの強化については、小学生部会、高体連、中体連にて強化会を開催した。

- (7) 指導者育成に関する事業

コーチ1資格取得研修会について、従来5日間で行われていたが3日間へ緩和され開催した。公認スポーツ指導員研修は中止とした。

- (8) 会員登録集計表

会員登録数、令和3年11月30日現在、15,114人が令和4年11月30日現在、14,419人となり695人の減となった。中体連、小学生部会も減少している。審判資格取得者と技術等級取得者は増加した。

- (9) 大会記録

理事会資料に基づき令和4年度大会記録全般を説明

- ・来年度からランキング表彰については、日連と同様とし、行わないこととする。

- (10) 令和4年度表彰者

別紙、資料のとおり

3 令和4年度収支決算報告

理事会資料「令和4年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明。

- (1) 年間の収支について

1,408,630円の増であったが、未払金及び未収金があるため、単年度では若干の黒字となった。

- (2) 主な増減

- ・県地区対抗戦が新型コロナウイルス感染症防止のため中止となったため収入減。
- ・審判講習会の受講者の増により収入増。
- ・指導者講習会は次年度入金予定のため収入減。
- ・指導者講習会の中止による収入減。
- ・県地区対抗戦及び神奈川静岡対抗戦の中止により支出減。
- ・新システム移行による認定料未払いによる支出減。

4 令和4年度収支決算監査報告（栗山監事）

令和4年12月11日、県連事務所にて理事長及び事務局長の立会いのもと監査を実施した。監査結果について、出金入金、帳簿類が適正に処理されていたことの報告であった。

<事業報告、収支決算報告について、承認された。>

5 令和5年度静岡県連盟事業計画（案）

理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明。

(1) 全日本シニア選手権大会

- ・草薙 50・55 花川 60・65 有度山 70 富士 75・80 予備コートに西ヶ谷を確保している。
- ・参加ペア数によっては会場変更がある。
- ・3月の常任理事会で役員を発表予定。

(2) 「ソフトテニス週間」の補助金について、東・中・西各地区連絡協議会への補助金は廃止。

(3) 愛好者増加対策事業を実施するため、東中部・西各地区連絡協議会に30,000円を助成。

(4) 新会員登録システムについては、団体管理者がログインする必要がある。市町協会から所属団体に連絡をお願いしたい。

6 令和5年度収支予算（案）

理事会資料「令和5年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明。

理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明。

(1) 主な増減

- ・会員登録数の減少による収入減。
- ・前年度より審判講習会の受講者が減少すると見込み、収入減。
- ・国体本大会へ2チーム出場想定で収入、支出増。
- ・県地区対抗戦、神奈川静岡対抗戦を実施予定のため支出増。
- ・東海選手権の主管は静岡県がないため支出減。
- ・審判講習会の前年度未払金を含むため支出増。
- ・全日本シニア選手権大会主管のため支出増。

(2) 全日本シニア選手権大会収支予算（案）

令和元年7月の東日本選手権大会（静岡開催）や平成30年9月の全日本社会人（静岡開催）の決算報告書を参考に予算書を作成。

(3) 県連の大会参加料の値上げについて

- ・当面の間は、値上げは考えていない。東海連盟も値上げはしていない。
- ・日連は財務的に非常に厳しい状況が続いているため、事前に手を打つため値上げの方向となった。

7 令和5年度大会日程の変更

【修正】9/9（土）神静大会は削除し、2/12（月祝）に神静大会を開催

<事業計画、予算（案）について、承認された。>

8 次期役員選考（伊藤役員選考委員長）

令和4年11月26日に有度山会議室にて役員選考委員会を開催し、別紙のとおり次期役員を選考した。（本理事会で承認された。）

- ・ 3 月の常任理事会は新役員で行う。
 - ・ 各協会、団体選出役員については、2 月末日までに県連事務局まで報告をする。
(氏名・住所・電話 (FAX)・携帯電話・メールアドレス)
- < 新任役員を代表して渡瀬氏、退任役員を代表して篠崎氏に挨拶していただいた >
議長から東部地区の役員持ち回りについて、検討要請があった。

9 静岡県中学生選手権大会協会別参加枠数 (中学生委員会 太田副理事長)

【訂正】浜松市「男子 + 1」を訂正、浜北が「男子 + 1」となる。

参加枠数の浜松市男子総数 (18 → 17)、浜北男子総数 (5 → 6) となる。

10 中学部活動 地域移行における今後の連盟の役割について (中学生委員会 太田副理事長)

令和 5 年度からの中体連主催大会への参加が認められる。

(1) クラブの中体連主催大会参加

- ・ 令和 5 年度は個人戦のみが参加可能。団体戦については令和 5 年度の様子を見ながら参加の可否を検討する。
- ・ 選手は、部活動とクラブのどちらか 1 つしか参加できず、年度途中の移籍を認めない。

(2) クラブチームの主な規定

- ・ 支部協会と中体連の両方に加盟・申請すること。
- ・ 中学生が静岡県在住の生徒であること。
- ・ 大会運営に協力すること。

(3) 今後について

- ・ 学校部活動において、令和 5 年度より段階的に土日の部活動が禁止となり、令和 8 年度より完全実施の予定。
- ・ 今年の中学選手権はこの方向で進めていく。細かい点は今後詰めていく。

(4) 質問事項

Q 現 1・2 年生もクラブを選択できるのか。また、ジュニアクラブに移籍できるのか。

A 部活動かクラブを選択できる (移籍可能)

Q クラブに入っている選手は学校の練習に参加できるか。

A クラブ選手は学校の部活動の練習参加は不可であるが、部活動選手はクラブの練習参加は可能である。

閉会挨拶 (市川博副会長)

本日は長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。中学部活動の地域移行は大変な問題だと感じています。5 年後 10 年後にソフトテニス競技が続けていけるように、なんとかいい方法を探っていければと思います。

以上